

フィンネットワーク通信

2016年7月号

こんにちは！
フィンネットワークの赤木広紀です。



梅雨らしい季節になりました。
気圧の関係か、雨の日は体が重くなる
ことが多いのですが、ただ、じっとしてい
ることの大切さを教えてくれるような気がします。



先月、10周年記念号をお送りし
たクライアントさんから、素敵
なお花を頂きました。

思いがけず嬉しかったので、フ
ェイスブックに掲載したら、こ
れまた思ってもみないくらいたくさんの人からお祝
いのコメントと「いいね！」を頂きました。

嫌だなと思うことを受け取れに
くいのは、ある意味、当然です
が、とって嬉しきことも中々
受け取れないものなんだと実感
しました。



クライアントの皆さんに「喜びも受け取りましょう！」
と言っているまず自分自身から、受け取る器を大きく
していきたいですね。

それでは今月もよろしくお祈りします！

横浜連続講座、第1回目が終わりました

3回連続講座、コーチが知りたい『コーチであり続けるための3つの秘訣』。6/18に横浜で、第1回目を開催しました。



プロコーチ15年のキャリアを
通して、長く続けていくため
には何が大切なのかを3つのテ
ーマに分けてお伝えするこの講座。

今回は「クライアントファーストを実践する」をテーマに話を進めました。

セッションをするときは、相手に意識を向けて関わる
ことができるのに、集客のことを考えるとどうしても
自分に意識が向いてしまって苦しくなる。そうなる
と、コーチを続けたくても苦しくて続けられなくなる。
では、どこに焦点を当てればいいのか？

頑張ってクライアントを増やそうというときは、今、
クライアントは「いない」というところに焦点が当た
っています。

「いない」に焦点が当たると、「本
当に増えるのだろうか」「クライ
アントは来るのだろうか」という
疑いや恐れ、不安、焦り、心配と
いった感情が出てきます。



では、クライアントが「いない」現在にではなく、ク
ライアントがすでに「いる」未来に焦点を当てると、
さっきとは違って、安心や喜び、ワクワクした気持ち
が湧いてくるかもしれません。

その未来にいるあなたのところに来たがっているク
ライアントがいるとしたら、そのクライアント達のため
にあなたができること、してあげたいことは何でし
ょうか？

例えば、それは「プロフィールを書く」ことかもしれ
ません。



でも、「どんなプロフィールを書いたら
クライアントを惹きつけることが
できるのか？」と考えるのと、「プロ
フィールにどんなことが書いてあ
ったら、クライアントは安心して申し
込むことができるだろうか？」と考
えるのとでは、「プロフィールを書く」
という行動は同じであっても、実際

に書くときの気持ちや感情は全く別物になるのでは
ないでしょうか？

疑いや恐れ、不安、焦り、心配といった感情が続くと、
そこから逃れるために一時的には頑張れますが、段々
ストレスが溜まってきて、長く続けることが難しくな
るか、途中で燃え尽きてしまうかもしれません。

（勤めていた時に、燃え尽きた経験がありますが、今
思うと恐れや不安が大きくなりすぎて、それ以上頑張
りきれなくなったからでした。）

意識を「自分のクライアントがいない」に向けるか、
それとも「求めてやって来てくれるクライアントがい
る」に向けるか。

自分が恐れから行動しているのが、それとも喜びから
行動しているのかに気づきやすくなったら、ストレス
も少なくなり、長く仕事を続けることができる。

そんな話を自らの体験と共にお伝えした第1回目の
講座でした。

次はアミーゴのコーナーですよ！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワールド “福” 社長の朝比奈です。

先月号にて、弊社 10 周年のお知らせをお伝えしたところ、たくさんの方々からお祝いを頂きました。

改めてお礼を申し上げます。
ありがとうございます。

本ニュースレターも 4 年目に突入します
気軽に読めて、お役に立つ記事をお届け出来るよう、
日常にアンテナを張り巡らせますね。

先日、十数年ぶりに足を運びました。
いわゆる“ミニシアター”と呼ばれる映画館に。

東宝や松竹で配給されるメジャーな映画は、全国各地の映画館で上映されます。対してミニシアターでは、そこでしか観ることが出来ないマイナーな映画を上映しているのですね。



2014 年に報道されたゴーストライター騒動の張本人、佐村河内守さんのドキュメンタリー映画「Fake」をミニシアターで観ました。

これは非常に面白い作品でしたね。次回の映画コラム「アミストラはかく語りき」で取り上げます。お楽しみに。

やはり、ミニシアターは独特の雰囲気醸成ができてますね。
ショッピングモールの映画館だと、「デートのついで」な観客も多いですが、「知る人ぞ知る映画」をわざわざ観るミニシアターの観客は濃ゆいです（笑）。

座席も 100 前後とこじんまりとしています。そこでしか観ることができない希少性もあるのか、混むことが意外に多いのです。
開場前、所狭しと通路に観客がならびます。

20 年近く前に上映された作品「ムトゥ・躍るマハラジャ」を観たときは仰天でしたね。

この映画は本国インドで大ヒットを記録したのですが、日本でもちょっとしたインド映画ブームをおこした作品です。



人気があるとは聞いてたので、上映 2 時間前から並びましたが、すでに満席。次の日も予約で満席だったので、なんと 6 時間後の予約を取ることに。

友人とあり余る時間をつぶしてました（笑）

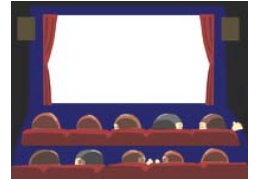


ここでして待った作品です。期待はイヤでも膨れ上がります。まあ、待った甲斐がありましたね。
「映画かくあるべし」をぶっ壊す作品でしたから。

映画の途中で、ストーリーとは全く関係なく、登場人物たちが踊り出します！
吉幾三に似ているおじさん（主人公の男性）を中心に、マイケル・ジャクソン風にダンス、ダンス！！
しかも人間だけでなく、象も？！

突っ込む気も起こらないほど、荒唐無稽さです。

3 時間もの間、とにかく口をポカンとしたまま終わりました。
エンドロールでは、どこからともなく客席から拍手が沸き起こったのです！！



狭い空間にひろがった一体感。
ミニシアターはやはり味わい深いです。

これを機に、またミニシアターも堪能したいですね。
あっ、暑い夏には脳みそぶっ飛ぶ「躍るマハラジャ」はオススメですよ（笑） DVD でどうぞ～。

ついにいきます！



ファインネットワールド設立 10 周年記念に、社長と福社長とで、日本一の山に登ってきます！



むか～しから、あの山をチャレンジしてみたかったですね。
体力に自信がなかったのも、踏み出せなかったのですが。

ついに決めたのです！！

予定としては、富士山で最もポピュラーな登山ルート（吉田ルート）から登頂。7 合目で山小屋に泊まり、翌日の午前中に頂上まで辿り着く予定です。

つまり山頂でのご来光はなしで、山小屋から日の出を観ることにしました。富士山どころか登山ビギナーなので、無理のない行程で登りたいですね。

日本一の景色を眺めたいので、日々のウォーキングは欠かせません。次々回のニュースレターでは、富士山山頂の写真を、みなさんにお見せしたいですね！

ファインネットワールド通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

